

令和7年度東京都予算編成等に向けた企画提案書の手交について

東京都の政策連携団体である当財団は、インバウンドがV字回復をする中、東京の観光振興に係る現状分析及び課題を示しつつ、「PRIME観光都市・東京」で掲げられている政策目標達成に向け、「コロナ禍後」のパラダイムシフトを意識した企画提案書を、下記の通り、東京都産業労働局観光部に提出いたしました。

記

1 企画提案書手交式の日時・場所

日時 令和6年7月16日(火曜日)
場所 東京都庁第一本庁舎内

2 出席者

東京都：産業労働局観光部長、観光振興担当部長、観光部企画課長
財団：専務理事(事務局長)、常務理事(総務部長)、企画調査担当部長、総務部企画調査担当課長

3 手交式の概要

財団専務理事の挨拶及び企画提案書の概要説明を行った後、出席者による意見交換を実施した。意見交換においては、観光業界の現状と、今後も都と財団とで連携し、業界の課題や世界の旅行トレンド等を踏まえた上で、取組を検討・実施していくことについて認識を共有した。

4 企画提案書の概要

(1) 現状分析と今後の施策の方向性

【現状分析と業界の課題】

- 国内旅行はボトルネック(物価上昇、実質賃金の低下等)が解消されない限り、今後も横ばいが継続することが見込まれる
- 2024年第一四半期の傾向より、インバウンドは好調が継続することが見込まれる。一方で消費額増の傾向は、物価上昇が大きく寄与している状況
- 社会全体として人手不足が続く中、引き続き、観光業界としても人手不足・生産性向上への対応が求められる状況
- 客室稼働率から見ると、東京の受入キャパシティは限界に近付いている状況。一方で、簡易宿泊所には「ネオリッチ層」等、客層の変化が見られる

【世界の旅行トレンド】

- ・旅の目的の多様化：パーソナライゼーションは今後さらに進む
- ・「旅行代金よりも自分が納得できる体験が出来るか」が重要

【持続可能な観光のさらなる推進】

- ・高まるグリーンウォッシングへの懸念：信頼ある「第三者認証」がより重要に
- ・観光地としての価値向上にも、信頼ある「第三者認証」の取得推進が世界的に進む
- ・デスティネーションとしての取組の可視化
- ・環境だけではない「持続可能な観光」：住民 well-being、アクセシビリティ、インクルージョン、文化資源の保護活用などの推進

【PRIME 観光都市・東京（東京都観光産業振興実行プラン）の考察：政策目標の達成に向けて】

- ・PRIME の政策目標は「都民の観光への理解促進」「経済効果」「文化」「環境」の4つのベクトルに分けられ、各ベクトル別の取組方向性に紐づいている必要
- ・政策目標達成のためには、既存のコンテンツやイベントを最大限効果的に活用した施策展開・各施策の土台となる環境整備が必要
- ・加えて、民間事業者や地域・団体のほか、文化や環境等の他セクションとの連携が必要

（2）政策目標達成を見据えた施策の方向性の提案（6つの方向性）

- ・都民の旅行者受入意向の維持・向上に向けて
- ・リピータブルな東京の訴求を
- ・ナイトタイム観光の促進に必要な環境づくり
- ・多様な東京の魅力を多様な旅行者に楽しんでもらう施策
- ・文化的サステナビリティ
- ・ローカルが誘（いざな）う新しい東京体験を

(3) 個別事業提案 (全 20 事業)

- ・ NEW Tokyo Tourism Business Meet-up (インバウンド商談会)
- ・ GT を基盤としたデジタルマーケティング拡充事業
～拡大・変化し続けるインバウンドニーズを捉え、自発的に成長するサイトへ～
- ・ (ビジネスイベント関連) ウェブサイトの一元化とマーケティングの強化
- ・ MICE グローバル人材育成講座の改編
- ・ TOKYO MICE サステナビリティガイドラインの更新
- ・ MICE 誘致映像制作
- ・ 海外作品誘致ネットワーク強化事業
- ・ (観光協会等を対象とした) オーダーメイド型研修・テーマ別研修
- ・ 地域資源発掘型プログラム事業の改善提案
- ・ 多摩島しょにおける出えん金事業の改善
- ・ 持続可能な観光の認証ラベル取得支援
- ・ 新たな高付加価値観光コンテンツ造成支援事業
- ・ 観光関連事業者の DX 人材育成支援事業
- ・ 観光関連事業者向け BCP(事業継続計画)策定支援 ～観光リスクに強い持続可能な観光へ～
- ・ 屋外型デジタルサイネージの今後の展開に向けた調査の実施
- ・ ベジタリアン・ヴィーガン認証取得支援の拡充及び東京都アドバイザー派遣との連携強化
- ・ 観光ボランティア事業の拡充 ～サステナブル・ツーリズムの推進～
- ・ 観光ボランティア事業の拡充 ～持続可能にするための取組～
- ・ 東京観光情報センターにおけるオリジナルマップ (江戸東京マップ) の制作について
- ・ 観光案内窓口における観光情報ネットワーク (屋内型デジタルサイネージ・窓口 HP) の再構築

5 「手交式」の様子

東京観光財団の鈴木事務局長より、東京都産業労働局江村観光部長へ企画提案書を手交いたしました。



写真左：財団事務局長（鈴木）、右：東京都産業労働局 江村観光部長

担当

総務部総務課 井上・山村